



図1 バッチ処理のシステム・フローチャート

② TSS処理方式

一つのシステムを実行するとき、利用者は慣れないコマンドをくり返し入力しなければならない。そこで利用者の負担を軽くし、TSS端末機からの実習を容易にするために、一連のコマンドをコマンドプロシジャーとして、共通領域のディスクへ登録し、入力コマンドの簡略化と実習の効率化を図った。

実習の仕方はディスプレイからデータを入力するが、入力の仕方はディスプレイに表示される画面に従って実習を行う。以下その手順を示す。

ア TSSの実行手順

- TSS端末の開始処理

```
LOGON TSS SS0101/S
Sとキーインする。
```

```
SS0101……ユーザーID
```

```
SS ……パスワード
```

- プログラムの実行開始

READYの状態から「E I Y O」とキーインする。

- データの入力

- 「E I Y O」が実行されると、図2の画面がディスプレイに表示され、氏名と家族人数のデータを求めてくる。
- 氏名と家族人数を入力すると、入力データと図3の画面が表示される。
- 0を入力すると、図4のように年齢、性別、身長、体重、生活活動強度と妊婦、授乳婦別のデータを求めてくる。
- 上記のデータを入力すると、入力データと図3の画面が再度表示される。エラーがなければ0を入力する。
- 図4の画面が再度表示される。以下家族人数分を繰返してデータを入力する。データの入力が終了すると図2の画面が表示される。

```
データノ INPUT カ オウリ マシカ、オウツタ / * ヲ
INPUT シナイ。
オウライ ハアイハ ツキ ハ。
シタノ レイノ ヨウニ ナマイ(ロマシ) デ 10カラム イナイ ニ) ト、
カソク ニンスウ ヲ INPUT シナイ。
データノ レイ ==> 'YOSHIDA' 2
```

図2 データの入力画面

```
データニ エラ カ アリマスカ。
アレハ 1 ヲ INPUT シテ、モウ イト データ ヲ イレナイ。
ナレハ 0 ヲ INPUT シナイ。
```

図3 データチェック画面

```
シタノ レイノ ヨウニ ネンレイ、 ハイハツ( M カ W )、
シチヨウ、 タイシニウ、
ハイカツ カツトウ キョウト
** カルイ ハ 1、 チウ トウト(フツク) ハ 2、
ヤオ オモイ ハ 3、 オモイ ハ 4 **
ニツフ ソノタ
** ニツフ ヒツハシナラ 1、 ニツフ コウハン ナラ 2、
シニニウ フ ナラ 3、 ソレイカイ ナラ 0 ** ヲ
INPUT シナイ。
データノ レイ ==> 35 'M' 163 60 2 0
```

図4 データの入力画面

- 結果の印字

「/ *」をキーインすると結果がライ